

小学校5年生 教科名 算数



偶数と奇数を判別する方法を考えよう

偶数と奇数を判別するプログラムの作成を通して条件分岐の考え方を学び、整数の性質について気付いたり理解を深めたりします。



○使用言語○
Scratch3.0

○使用教材・環境○
ノート PC

○実践授業の展開例○

本時の目標

プログラミングを用いて、偶数が奇数かを判別する方法を考える活動を通して、整数の性質についての理解を深めることができる。

導入 ○学習課題の把握
偶数と奇数を判別するプログラムを考えよう。

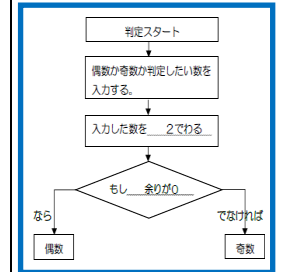
展開 ○条件分岐と演算のブロックの使い方について説明する
「もし～なら…をする、そうでなければ…をする」という条件分岐と演算ブロックについて確認をする。

○偶数と奇数を判別するプログラムを考え、具体的に数字を入力させてその結果をまとめる

条件分岐と演算ブロックを使用して、判別プログラムを作成し、具体的に数字を入力してその結果から、整数の性質をまとめる。

まとめ ○授業をまとめる
「2で割り切れる」が、条件分岐となり演算で表す必要があることを確認する。

身の回りにある、条件分岐を使ったしくみを考えさせ、日常生活との接点に気付かせる。



補足・留意点等
考える手立てとしてフローチャートを用いる。

